



発行日 平成30年 10月 4日
発行 兵庫県朗読ボランティア連絡会
神戸市中央区神若通5丁3番26号
(中山記念会館内 神戸ライトセンター)
TEL (代)090-3975-0370

第32回兵庫県朗読ボランティア連絡会交流会のご案内

日時： 2018年 11月 13日 (火)
13:00~16:00 (12:30 開場)

場所： ピフレホール (大ホール)
「ピフレ新長田」3階

〈アクセス〉

- ・ JR/新長田駅南側
- ・ 市営地下鉄/新長田駅南側
- ・ 山陽電鉄/西代駅南へ徒歩7分
- ・ 市バス/「新長田駅前」下車

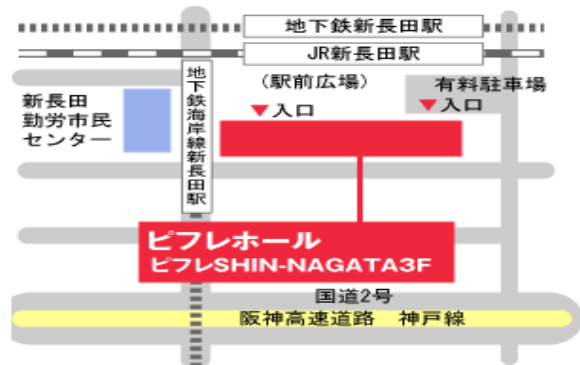
〈プログラム〉

第1部 朗読発表

- ・ 朗読Vわっしょいわっしょい
磯永 秀雄作「鬼の子の角のお話」
- ・ 朗読の会 神戸草笛
齋藤 孝作「声に出して読みたい日本語」より
- ・ 明朗会
高田 郁作「返信」

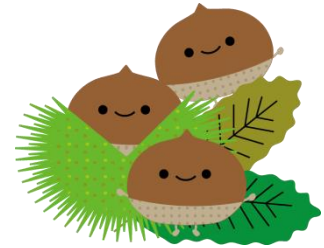
第2部 川邊 暁美氏による講演会

- ・ 朗読「蜜柑畑」 (山本周五郎)
- ・ ワークショップ
「声で握手♪呼吸と声を伸びやかに、心を伝える朗読」



今秋の交流会にも多数のお申込をいただき、ありがとうございます。皆様にお楽しみいただけますよう、準備を進めているところです。ポシエツト146号と一緒にチケットもお届けします。

*なお、当日券もございますので、ご利用ください。



第1部

わっしょいわっしょい (神戸市)

「鬼の子の角のお話」(磯永 秀雄)

山の岩穴から野中のあばら屋に引越してきた鬼の夫婦に子供が生まれました。ところがいつまでたっても角が生えません。神様にお願いしても、角は生えてきません。森に住む動物達が心配して、鬼の家を訪ねてきますが…。

朗読ボランティアグループわっしょいわっしょいは、三宮を拠点に活動しています。月3回の勉強会、高齢者施設への訪問、読み聞かせ、対面朗読等、メンバー8名がそれぞれの良さを生かし(輝きながら?)活躍しています。更に、来年4月の発表会に向けて、各自より一層練習に力が入ってきました。これからもより精進して参ります。

朗読の会 神戸草笛 (神戸市)

声に出して読みたい日本語より (齋藤 孝)

漢詩や現代詩、古典や小説など様々なジャンルから、読んで気持ちがよく、誰もが親しんだ名文名句を集めた朗読用テキストとも言えるシリーズです。

日本語ブームを巻き起こしたベストセラーより、いくつかを選んでお送りします。

「あまり気張らずに楽しく参加しましょう」という明るい草笛のモットーで出演が決まりました。

十八番(おはこ)があるわけでもなく作品選びからの作業となり、まだまだ形がやっと見えてきたところです。

草笛のほぼオールキャストのメンバーでお送りします。

明朗会 (明石市)

「返信」(高田 郁)

2年前に不慮の事故で亡くなった息子の面影を求めて 陸別を訪れた瑛一郎と諒子。そこは、15年前に息子が両親に宛てたはがきを書いた場所だった。

明朗会は明石海峡大橋を臨む、風光明媚な環境で 現在37名が活動しています。多くの先輩方々の 想いを受け継ぎながら発足から42年を迎えました。

9月から新人養成講座も始まり、また新たな気持ちで 朗読に取り組んでいます。

楽しく、長く続けよう!が会のモットーです。

第2部

川邊 暁美氏による講演会&ワークショップ

・朗読「蜜柑畑」 (山本 周五郎)

江戸時代前期の紀伊・田辺藩。幼い頃から恋い慕った相手に嫁ぐ日を心待ちにしていた信乃を打ちのめした婚約者の突然の裏切り。失意の信乃は人里離れた山に移り住み、米作りに打ち込むようになり……自ら選んだ信念ある生き方を貫いた女性の物語。

・ワークショップ

「声で握手♪呼吸と声を伸びやかに、 心を伝える朗読」

「声で握手♪呼吸と声を伸びやかに、心を伝える朗読」

身体をほぐし、呼吸を整え、声を伸びやかに響かせるウォーミングアップ実践の後、情景描写や登場人物の動き、心情をどのように声で表現していけば、より作品の世界を伝えることができるか……、ご一緒に練習文を読んでいきましょう。



【川邊 暁美氏プロフィール】

神戸女学院大学卒業後、NHK 神戸放送局ニュースキャスター、兵庫県広報専門員を経て、「美しい日本語とその心を次世代に伝える」思いを礎に、2008年「言の葉OFFICEかのん」設立。現在は、アナウンサー、話し方、コミュニケーション、ビジネスマナー、男女共同参画の講師として、企業研修、大学での講義、各種講演など幅広く活躍。また、日本語の美しさを次世代に伝えていくため、「朗読」に、ライフワークとして取り組んでいる。

《依頼図書》

29年度にも依頼があった磯崎功様より新たに8月末に以下の2冊依頼図書がありました。

- ・「自分の最高の力を引き出すために何をすべきか」国司義彦著 三笠書房 単行本 226 ページ
- ・「看護における危機理論・危機介入」小島操子著 金芳堂 単行本 164 ページ

朗V連から幹事を通して複数のグループに問い合わせ、「松ぼっくり」と「むつみ会」で1冊ずつお引き受け下さいました。

*今後も依頼図書が増えていくかと思われます。皆様ご協力をお願い致します。

《朗読依頼》

神戸ライトセンターまつりで加古川市「ほほえみ」が朗読発表を行い、その来場者からの依頼で雲中地域福祉センターの敬老の日のイベントで9月11日に朗読発表されました。

先月11日、雲中地域福祉センターの敬老会で「ふたりぼっち」を朗読させて頂きました。70名程のお客様を前に緊張しましたが、クスッという笑いでスイッチがはいる、最後のクライマックスまで思いきり演じることができました。貴重な経験をありがとうございました。
加古川朗読ボランティア ほほえみ



《五国風土記》

神戸新聞社から依頼されたウェブ版五国風土記は各朗読が全て完了しました。新聞社の担当者によると現在編集作業中だそうで、ウェブでの配信は11月を目途にしていますが来年になるかも知れないとのこと。お引き受け下さったグループの皆様、どうもありがとうございました。

『アイライトフェア2018』

日時 11月3日(土・祝) 13時～16時30分
会場 神戸市立葦合(ふきあい)文化センター 大ホール
神戸市中央区旗塚通4丁目4-1
*葦合文化センター本館は移転しましたが、大ホールは以前と同じ場所です。
内容 ミニコンサート・医療講演・報告
シンポジウム「トータルサポート事業の10年(仮題)」
参加 無料
主催 神戸アイライト協会
問い合わせ 神戸アイライト協会 電話078-252-1912
*詳細は神戸アイライト協会のホームページでもご覧いただけます。

ポシエットがインターネットで見られます！

ポシエットが神戸ライトセンターのホームページに掲載されています。いつでも空いている時間にゆっくり読むことができますよ。

神戸ライトセンターのホームページ(<http://www.klc.jpn.org>)を開き、所属団体の項目から「兵庫県朗読ボランティア連絡会」をクリックしてご覧ください。



朗V連へのお問合せ、ご意見ご要望がございましたら下記担当幹事までお知らせください。

ブロック	地区	氏名
A	東部・北部地区	芦田清美 (丹波市 りんどう)
B	神戸・明石・淡路地区	馬居理子 (洲本市 樫の木G)
C	播磨地区	坂口幸子 (高砂市 むつみ会)

『ポシエット』では各グループの活動などを紹介しています。どうぞ原稿をお寄せ下さい。その他、耳寄りな情報やご意見・ご希望なんでも結構です。

編集後記

- ☆ 想定外の台風が多発しています。被害にあわれた方には心よりお見舞い申し上げます。(う)
- ☆ あの夏の猛暑から一転今年の秋は月を眺める間も無く目まぐるしく天気が変わります。これも温暖化のせいですか？(あ)